

文字が娘奪った

長時間LINE友情ひび

全国の自殺者数が減る中で、未成年の自殺だけが昨年、増加した。若者が人生に希望を失い、命を絶ってしまう背景には何があるのだろうか。遺族や自殺未遂者の証言から、若者が現代社会のはざまに追込まれていく様相を探り、対策を考える。〈関連記事1面〉

命の葛藤

出口なき若者①

△今、バスの中です。2013年秋の夕刻、西日本の女子大一年だった舞さん(仮名、当時18歳)から母親(56)にメールが届いた。いつもの帰宅連絡だったのに、その1時間後、舞さんは自ら命を絶ち、家に帰ることはなかった。

あの朝、舞さんは「帰ったら縫い物をするから、ミシンを用意しておいて」と言っておいた。前日には母親と一緒に買い物に行き、バスの通学用定期券を購入した。ふだん通りの日常のはずだった。

何があったのか。舞さんのスマートフォンに残っていたLINEの記録や、大学の両親への回答文書から、一端が判明している。



「一緒にこの公園をよく散歩したんです。遺品のスマートフォンを手に、母親は亡き娘を思う―鈴木毅彦撮影

夏休みが明けた日、舞さんはとうとう同級生と争いになり、涙を流した。グループの仲間は味方をしてくれ、LINEでも「大丈夫?」などと言わってくれた。

3日後も、舞さんはグループの一人とLINEを交わした。△(同級生と)ちゃんと話をしてくれる△みんなを振り回して申し訳ない△と繰り返すと、△見守ってる△と励ましが返ってきたが、やり取りが2時間以上続いた後、突然、友人の態度が変わる。

翌日の授業の合間、舞さんはグループの友人らに「これから仲良くして」と直接頼み、おそろいのアクセサリーを配った。帰宅後、バスの中で、前日は別のメンバーの一人に送って、△今日は話を聞いてくれてありがとう。これからもう少しLINEで送っている。

だが返事は冷たかった。△よろしくしないとダメ?(同級生と)仲良くするのならば必要ない△

舞さんが△明日から一緒にいてね△と頼むと、△しんどいし、もう友達やめよう。めんどくさい△と突き放された。△本当にごめんさい△と何度も懇願したが、途中で着信を拒否された。

友人△行動を直せよ△舞さん△直したら仲良くしてくれませんか△友人△甘いよ。もう嫌△30分間のやり取りの最後に、舞さんは△はい△と短い答えを返している。バスを降りて自宅マンションに着いたが、そのまま屋上に上がり、身を投げた。

それから5年近かった今も、両親は「なぜ突然」との思いをめぐれない。周囲への心配りを絶やさない子だった。人間関係に苦悩を深め、LINEの世界で急速に追い込まれてしまったのだろうか。詳しい経緯を知りたくて、両親は弁護士を通じて友人らに手紙を書いたが、保護者側から「本人のショックが大きい」となどと返答され、あき

絶対聞かない△友人△友達じゃないから、こっちに来たんじゃよ?△舞さん△みんなと接したかった△

母親は訴える。「スマホの文字は表情も見えず、冷たく心に突き刺さる。娘のような悲劇が起きないためにも、その怖さを知ってほしいんです」

意見・感想をお寄せください。宛先は〒100-8005 読売新聞東京本社社会部(FAX03-3217-8006) shakai@yomiuri.com

読み返し傷深まる

専門家によると、若者は限られた友人との狭い人間関係で生きている場合が多く、拒絶されれば自らの存在を否定されたように思い込みがちだ。

特に場所や時間を問わずつながるLINEなどSNSでは視野が狭まり、心の余裕もなくなることがある。子供のネット問題に詳しい竹内和雄・兵庫県立大准教授は「文字が画面に残り、受け取る側は何度も読み返せる。それは傷つく言葉を何十回も繰り返されるのと同じ。文字だけのやり取りのリスクを教える必要がある」と指摘している。

無料相談窓口の例

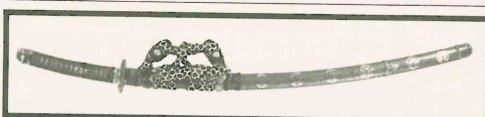
インターネット上の人権侵害

法務省「みんなの人権110番」
☎ 0570-003-110
平日午前8時30分~午後5時15分

人間関係の悩みや死にたい気持ち

東京自殺防止センター
☎ 03-5286-9090
午後8時~翌朝午前6時、火曜日のみ午後5時~

大阪自殺防止センター
☎ 06-6260-4343
金曜日午後1時~日曜日午後10時



刀剣・小道具 自白 飯田高遠堂
創業明治13年

販売・購入・無料評価鑑定 ☎03(3951)3312

水曜・土曜・祝日定休 〒161-0033 東京都新宿区下落合3-17-33
www.iidakoendo.com (JR山手線目白駅下車徒歩左へ3分)